

【学校だより】

南アルプス市立 小中一貫校 芦安小中学校



芦安っ子

【学校教育目標】

郷土を愛する心と夢を育み
未来を拓く人づくり

令和5年12月20日 NO.7 芦安小学校長

いよいよ冬休み～この一年を振り返り、新年を楽しく迎えよう～



早いもので充実した2学期も今週末で終わりを迎え、23日から18日間の冬休みとなります。今学期を振り返ってみると、子どもたちが諸行事や学習等で生き生きと活躍する姿をたくさん見ることができ、大変嬉しく感じました。ご家庭でも4月からの成長を大いに褒めてあげてください。子どもたちの成長は、地域や保護者の皆様方のご理解とご協力があってこそ実現できたことです。改めて感謝申し上げます。

明日の個別懇談でも、お子様の成長をお伝えします。それと共に、大切な「ふり返りの機会」としたいとも考えています。お子様のこれまでの成果や成長をお互いに確認しつつ、ご家庭での様子、学校への要望などを承る機会ということです。懇談の中でいただいたご意見は職員間で共有し、検討しつつ改善を図ってまいります（ご意見は随時受け付けております）。

さて、冬休みは、大晦日やお正月など、一年のうちでも日本の伝統行事や文化に触れる機会が多くなります。家族と過ごす時間も増え、年末年始ならではのお手伝いの場面も多く生ずるでしょう。この機会に、家族の一員としての自覚を高めるために、ぜひたくさんお手伝いをさせてあげてください。「家族の役に立つことができた」「喜んでもらえた」という体験と実感が、自信を生み、自己肯定感の醸成につながるものと期待しています。

1月10日（水）の3学期始業式では、子どもたちの元気な「おはようございます！」の声で新しい年を迎えられることを願っています。どうぞよいお年をお迎えください。

心静かに 集中する“とき”～井川先生の書写指導～

年明けに書初め大会を予定している本校は、書家の井川公子先生をお招きし、子どもたちにご指導いただく機会を設けています。井川先生は、ほぼボランティアで10年来、本校児童のために遠くから足をお運びくださっています。実に有難いことです。

今年のお題は、1年生が「ほし」、2年生が「ゆめ」、3年生が「うた」、4年生が「花火」、5年生が「雪どけ道」、そして6年生が「立春の空」となっています。すでに何回かご指導いただきましたが、子どもたちは、井川先生の的確で穏やかなご指導に、頷きながら取り組んでいました。俗物の私など「上手に書けるように」「賞状目指せ！」等という卑しい気持ちも（正直に言うと）湧いてきます。しかし、その一方で、「墨の香りをかぎ、日本文化の風情を感じてほしい」とか、「心を静め、筆の入り、止め、はね、払い等、一画一筆に全神経を集中し、自分と向き合う“とき”をもってほしい」といった思いもつづります。

3学期には井川先生のご同席を願いつつ、大会の本番と審査を行う予定です。



よいよいよ学校の担い手として～児童会役員選挙～



今年は、3人の立候補者が公約を基に選挙活動を行ってきました。そして、立会演説会ではどの候補者も自分の考えを立派に発表することができました。3人が、緊張感をただよわせながらも、堂々と自説の演説をやり遂げた姿を見て「もう全員合格！」と叫びたくなりました。

選挙管理委員のみなさんも休み時間を使ってまで、たくさんの準備や段取りをしてくれました。見事な働きぶりでした。「学校のために」「自



分ではなく誰かのために」という意識の高まりを感じました。また、演説を聞き、選管の注意事項を真剣に聞いていた子どもたちの様子もすばらしかったです。こうした場面でも、子どもたちの成長の足跡が見られました。

「若いときに投票に行かない人は、ほぼ一生行かない」というデータがあるそうです。残念なことです。人を選ぶことの難しさと責任を学ぶ、大切な学習となりました。



子どもを「評価する」ということ

～通知表「あゆみ」の発行に寄せて～



終業式に渡される「あゆみ」。学期末の恒例ですね。発行するために、各教員は多くの力を投入しています。このあゆみ（通知表とか通信簿ともいいます）について、私は、若年時代に忘れられぬ思い出があります。

Aさんは、どうしても算数が苦手でした。授業中、真面目によく聞いていました。宿題は、時間をかけて何とかやってきました。でも「×」が多くありました。放課後、一緒に「宿題直し」や「補習」をしました。

ですが、単元最終の確認テストでは、成果がはかばかしくありませんでした。私はやむなく△を付けました。

Aさんは、体育も苦手としていました。跳び箱の3段が、どうしても跳べません。跳び箱の上に乗るだけで着地までいきません。何度か個別練習もしましたが、うまくいきませんでした。私はやむなく△をつけました。

そのような日々が過ぎ、終業式を数日後に控えたときに、打ち合わせの場で校長が言いました。

評定に「△」をつけることもある。そのときに「痛み」を感じてほしい。「自分の力不足」ととらえるのだ。何のためにあゆみを渡すのか、その意味を考えてほしい。「次につなげるため」である。「次」というのは子どもだけでなく、評価した教師自身にも当てはまる。

あゆみの評価・評定は「その時点」という限定版だ。子どもはいつでも成長している。挽回するチャンス。「人を評価する」という行為はおそろしい。私達の仕事はそうした厳しさをもつ。「恐れ」でなく「畏れ」を。「評価するという事は、評価されること」でもある。心したい。

（気のせいかもしれませんが）まるで私の心を見透かしているように、校長は私の方を見ながら語りました。次の学期。校長の言葉をかみしめつつ、休み中に勉強した指導法を用いて、体育でまた跳び箱を実施しました。すると、Aさんは跳べたのです。学んだ指導法も良かったのですが、何よりAさんが、がんばりました。

「Aさん、やったね！あのときは△でも今は◎だよ！」と伝えたら、とっても良い笑顔で頷いてくれました。Aさんは、わずかながら算数も向上していました。きっと家でもがんばったんでしょ。

「あゆみ」は、便宜上「◎」や「○」などの記号と、文字数の限られた文章で評価・評定をしています。パッと見ると、ただの記号や短文に過ぎませんが、その子の努力や教員らのエネルギーがたくさん隠れています。

それでもなお「一面」にすぎません。あゆみに現れない「その子の良さ」は、おうちの方々が一番ご存じだと思います。個別懇談では、そうしたことも話題になるといいなあと思います。。

行事予定

【1月の主な予定】

| | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1日（月）元日 | 23日（火）薬物乱用防止教室（5・6年） |
| 10日（水）始業式・身体測定・11:40下校 | 24日（水）特別日課 13:20下校 |
| 11日（木）井川先生来校・書き初めの取組 | 26日（金）特別日課 13:00下校 |
| 12日（金）スキー教室（4・5・6年） | |
| 15日（月）委員会活動・SC来校 | 冬休み中の連絡先 |
| 16日（火）3年社会科見学 | 12/29～1/3 → 080-3529-8411 |
| 18日（木）小中合同太鼓 | その他の日 |
| 22日（月）クラブ活動・学校運営協議会 | （8:30～16:30） → 055-288-2006 |



芦安小のホームページから、「学校のひろば」をご覧ください。
↑ 二次元バーコード

※ 行事予定は、くわしくは後日配付の各学年のお便りでご確認ください。